



発行所 財団法人兵庫県消防協会 神戸市中央区下山手通4丁目16番3号 編集発行人 関山 巧 定価 1部金44円 題字 井戸知事

消さないで あなたの心の 注意の火

平成十八年度 消防団長名簿

各地区の団長をご紹介します。

(平成十八年七月一日現在、敬称略)

Table listing fire district names and their respective fire chief names across various regions like 神戸地区, 東灘, 中灘, etc.

兵庫県消防協会名誉会長

故 溝口信次氏のお別れの会

尼崎市消防団

去る七月一日、兵庫県消防協会名誉会長・尼崎市消防団名誉団長 溝口信次氏のお別れの会が、尼崎市中小企業センターにおいて、兵庫県消防協会と尼崎市消防団共催により、厳粛に執り行われました。
溝口名誉会長は、五月三〇日九六歳でその生涯を終えられるまで、人生の大半を消防に捧げてこられました。
お別れの会は、国会、県議会議員をはじめ、四〇〇人を超える参列者の中開式され、黙禱に続き、関山会長が「溝口さん、どうか安らかに眠りください。
天空の彼方へと旅立たれるあなたに、兵庫の消防団員五万人を代表して、心から永遠のお別れを申し上げます。」と追悼の言葉を申し上げます。
とばを述べられました。
続いて、衆議院議員 谷川秀善氏、前兵庫県知事 貝原俊氏、兵庫県知事代 副知事齋藤富雄氏、尼崎市市長 白井文氏、兵庫県議会議員 長田秋氏、尼崎市議会議員 谷川正秀氏が順次、溝口名誉会長を偲んで、お別れのことばを述べられ、悲しみをあらたにしました。
ご存知のとおり、溝口名誉会長は、尼崎市消防団の一市一団統合時から初代尼崎市消防団長を、また、兵庫県消防協会会長、日本消防協会副会長としても活躍されるときに、尼崎市議会議員を三期、兵庫県議会議員を五期勤められ、さらには、兵庫県選挙管理委員長を勤められるなど、消防の場のみならず、政治の場でも卓越した指導力と統率力を発揮され、それらの実績に対し、藍綬褒章、勲三等瑞宝章をご受章されるなど、輝かしい功績を残されました。
氏の残されたご功勞は、兵庫の歴史、消防の歴史に、いつまでも燦然と光り輝くことでしょう。
式は親族献花に引続き、尼崎市消防団長 生越敏雄氏が溝口名誉会長との別れを惜しむとともに、溝口名誉会長が築き上げられた尼崎市消防の名を汚さぬことが最高の供養になると今後の精進を誓われるとともに、参列者にお礼のことばを述べられ、続いて、発起人を先頭に参列者全員が献花を行い、名残惜しいですが、溝口名誉団長とお別れをいたしました。
最後に、当日ご出席を賜りました、ご来賓の皆様をはじめ、

消防関係機関の皆様方に、改めてお礼を申し上げますとともに、溝口名誉会長の生前同様、兵庫県消防協会、並びに尼崎市消防団に対しまして、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



故 溝口信次氏のお別れの会

『平成十八年度第一回 女性消防団員研修会』開催

平成十八年度第一回女性消防団員研修会を去る七月一日(土)に、神戸市東灘、神戸市北、神戸市長田、芦屋市、川西市、加古川市、小野市、朝来市及び丹波市の女性消防団員四名参加のもと、兵庫県立広域防災センターにおいて開催しました。
研修会は、午前十時に開始し、午前中に講義と女性消防団員による活動発表、交流会を兼ねた昼食をはさみ、午後からは各種訓練を実施しました。
まず、消防学校の伊藤教官から「社会の変化(位相変化)」というテーマで講義いただき、参加者らは身近なテーマに真剣なまなざしで聞き入っていました。その後、玉谷教官から、この六月一日の消防法の改正により、すべての住宅に設置が義務づけられた「住宅用火災警報器」の使用の仕方について、実演も交えながら、説明していただきました。
女性消防団員による活動事例発表では、川西市消防団(チェリーファイヤー)の分団長の藪さん、団員の中西さん、木内さん、佐藤さんの四人から日頃の活動成果を写真とDVDを使って紹介していただきました。また、小野市消防団(サンフラワーズ119)の団員の長尾さんから小野市及び女性分団の紹介や活動状況、また今後の課題等についてパワーポイントを使って発表をしていただきました。参加者らは、それぞれの発表内容に大変刺激を受けた様子で、自分たちの活動の参考になったという声が多く聞かれました。
また、その後の昼食会(班別交流会)でも、和気あいあいとした雰囲気の中、他団の方々と積極的な情報交換が行われました。
午後の各種訓練は、県消防学校長や教官の熱心な指導のもと、二班に分かれ、訓練礼式、模擬火災訓練(ATF訓練)及び小型ポンプ放水訓練を実施しました。特に、全国に六台しかない



模擬火災訓練 (ATF訓練)

豊岡市日高消防団長
竹中 正巳



豊岡市は、平成十七年四月一日、兵庫県北東部に位置する北但一市五町が合併して発足しました。人口は約八九、〇〇〇人、面積は六九七、六六畑で、県下最大の面積を有しています。それに伴い、当消防団も名称を「豊岡市日高消防団」と改称し、現在十八分団、五八二名で有事の際の出動に備えています。当消防団の出発は、大正元年

消防団今昔

52



元加古川市消防団分団長
國廣 隆久

今年、二八年間いろいろ思い出のある加古川市消防団を退団いたしました。少し思い出話を書きたいと思えます。入団は近所の先輩から勧められ、何の迷いもなく入団しました。入団当時は、上荘分団に在籍し、八年間活動しましたが、行政の関係で八幡分団に班長としてお世話になることになりました。八幡分団は、加古川市消防団の中でも訓練、防火啓発行事など積極的に団活動をしている分団で、最初は正直大変な分団に入ってしまったと思えました。しかし、

分団長をはじめ幹部の皆さんに大変よくしていただき、また消防団活動についてもいろいろ指導していただき、今の自分があるのは当時の皆さんのおかげだと思っています。八幡分団に在籍して二年後、東播磨地区消防操法大会があり、我々八幡分団が自動車の部に出場することになりました。準備も兼ねて、分団幹部の皆さんと一緒に兵庫県消防学校に入校させていただくことになりました。操法に関する知識はもちろん、消防団員としての規律など、とても収穫のある三日間でした。その後、選手を決め、分団全員で大会に向け何ヶ月も練習を行いました。大会では準備が整った状態で、選手をはじめ、分団員皆が完全燃焼できたように思いました。十八年に一

度順番が回ってくるこの大会、二年後にまた八幡分団に回ってきますが、後輩のみなさん大変でしょうが頑張ってください。また、八幡分団では、二六年も続いている夏の操法大会があります。この大会は、団員の技術の向上、親睦を目的に先輩方が始められた行事で、八幡分団七地区の班に分かれ、九月一日の防災の日に近い日曜日を大会日として、各地区が練習の成果を競い合います。また、数年前からは自主防災組織の皆さんと合同訓練を当日行うようになり、消火器や消火栓の使い方、初期消火の重要性などをよく理解していただき、我々も心強く思っています。それからもう一つ、これも二六年続いている行事が春の火災

国府村に公設消防組が設置されたことが出発で、その後他の五町村にも順次消防組が結成されました。昭和十四年には警防団に改められ、昭和二十二年には消防団が六町村に組織されました。昭和三十三年三月町村合併により「日高町」となり、それに伴い同年八月六日団員数二、〇〇〇名、六支団、六六分団で、「日高町消防団」が結成されました。その後数回にわたる機構改革を経て現在の体制となりました。近年、地域の組織が減少しつつありますが、当消防団では昔からの「縦の関係」が残り、年配者と交流する機会がきちんとあります。わたし自身も縦の関係の中で、団員としても人間として成長しました。その意味で最も印象深い災害は、平成二年の台風十九号です。当時は副団長を務め、無縁で各地の被害状況を受信していたのですが、その時、ある集落の団員が素晴らしい活躍をしたんです。その団員の集落の裏山がスキー場だったので、雨が降っているのに山からの水の流れが止まりました。団員はとっさに「水の流れが止まるときは、一気に土砂が押し寄せる危険がある」という先輩の体験談を思い出し、すぐに避難命令を出して、人々を誘導しました。避難後、予想通り大量の土石流が集落を襲い、アスファルトははがれ、家屋もひどい被害を受けましたが、多



数々の水害を教訓に行われる水防訓練

くの人命が救われました。先人の言葉が生きた瞬間でした。今後も、縦の関係を大切にしていって地域に密着した活動を進め、さらに一人暮らしの高齢者など災害弱者の方を守る活動にも力を入れていきたいと考えています。

地区通信

北播磨地区

今年是全国消防操法大会が三木市の兵庫県立広域防災センターで開催されることが決定しており、地元である北播磨地区では各支団の消防団員が上位の大会出場を目指して日夜練習に励んでまいりました。

地区消防操法大会に出場するため、今までより以上の厳しい練習に励んでいます。北播磨地区内は、平成十七年度に市町合併が進み、四市八町が五市一町となり、同時に消防団でも合併が相次ぎ、七支団が六支団となりました。北播磨地区消防操法大会に出場する支団代表隊も十五隊から十二隊と、少数精鋭を支団の代表として出場することとなりました。

五月二十八日に開催された三木支団から支団大会が始まり、六月十八日の加東支団の大会をもつて北播磨地区六支団の大会は終了いたしました。

各支団の代表隊は次のとおりですが、上位大会への出場を目指し健闘されることを祈ります。

予防週間に行われる「春の防火啓発駅伝パレード」です。この行事も七地区に分かれ、それぞれの選手が各町内を駅伝して皆さんに防火を呼びかけます。そして、選手のすぐ後ろを団長をはじめ、各町内会長、婦人会長、そしてミス加古川の皆さんにも参加していただいで、ポンプ車・積載車に分乗し、同じく防火をよびかけてパレードを終わるわけですが、沿道には多くの子供達や人々が集まり、毎年町内の皆さんに喜んでいただいでいます。このように、消防団は地域の防火・防災を考え、普段から色々と活動しているわけで、現役の皆さんはこれからも大変でしょうが町内の皆さん、また市民の皆さんのために頑張ってくださいと思います。

私は退団しましたが、これからも消防団の発展のため陰から応援させていただきます。

支部名	小型動力ポンプの部	消防ポンプ自動車の部
西脇支部	第五分団塚口部	第五分団比延部
三木支部	口吉川第二分団	三木第四分団
小野支部	西分団河合西部	南分団特設部
加西支部	第十分団和泉部	第十分団河内部
加東支部	岩屋分団	社分団
多可支部	加美区第三分団市原部	八千代区中野間分団



播磨町消防団

田中 廣治 団長



播磨町は、昭和三十七年に兵庫県最後の村から名称を改め、町制を施行しています。

本町消防団の歴史は、明治四〇年阿閑消防組として発足し、昭和十四年警防団に改められ、

「常に危機意識を」

香美町消防団 本城 繁信 団長



香美町は県北部に位置し、日本海に面する地域で内陸部は一、〇〇〇m級の中国山地に囲まれた総面積三六九km²と広大なエリアです。町の規模では県下一の

昭和二十二年九月に阿閑村消防団となり、一団一分団で発足しました。

田中団長は、地域全体で火災や災害に対する活動に取り組み、安全・安心なまちづくりを実現させたいと日々考えておられます。万が一、火災が発生した場合、常備消防が到着するまでの初期消火を迅速に行うことが大切と考えておられ、このため、日頃からポンプ操法や非常事態を想定した訓練を実施されています。

しかし、現在の消防団員数は、

わがまちの団長さん

136

面積を有しております。

本城団長は昭和三十三年に入団され、昭和五〇年から分団長、昭和五六年から副団長、平成十二年から団長に就任され、平成十七年香美町消防団発足後初代の団長に就任され、団員一、一五三名のトップとして地域の安全と安心を守るためご活躍されています。

また、団長は、日頃の訓練を怠ることなく、常に危機意識を持って行動するようにと指導されています。

そんな団長は、いざ災害が発生すると広い町の中、現場へ急行し、陣頭指揮を執っておられます。

近年、サラリーマンの消防団員が増え、また町外で勤務する団員が増えている状況への危機、自主防災組織の育成などたくさん問題があります。これらの問題についても、団長自ら危機感を感じ、住民が安全で安心に

減少傾向です。京阪神地域への交通の至便な町であるため、サラリーマン団員の増加により消防団活動に支障をきたしてまいり、若者の意識の多様化等により団員の確保が難しい状況にあります。安全・安心には消防団を含めた地域全体の防災力の向上が必要です。

予防面の活動において女性のソフト性、きめ細かく優しい思いやり等の特性を団活動のなかに生かしていくため、来る平成十八年八月一日女性分団を発足させます。

皆様には、消防団の活性化に関する成功例など、ご意見等がいただければ幸いです。

暮らせる町を目指し、積極的に取り組まれています。



地区通信

「消防団救急インストラクター」中学生の指導にも尽力!

神戸市兵庫消防団

神戸市兵庫消防団の管轄する兵庫区は、兵庫県名由来のまちであり、兵庫の港が「大輪田の泊」とよばれていた奈良時代の昔からその名は知られ、平清盛の時代には福原遷都が行われたという歴史と伝統を有しています。

このように、長い歴史と文化を有する兵庫区も、戦後は神戸の中心が三宮周辺に移動し、現在では神戸市内の中で突出した高齢化率の高い地域となり、併せて平成七年一月十七日の阪神・淡路大震災では甚大な被害を受けたため、これらの課題や震災の教訓を生かすことが急務となっていました。

神戸市消防局では、平成五年度から応急手当を有効に実施できる普通救命講習(神戸市では修了者を市民救命士と称しています。)の普及に努めています。兵庫消防団は地域の救命率の向上を目標に、独自に救急講習会で指導できる応急手当普及員(神戸市では救急インストラクターと称しています。)の資格を取得し、地域の防災リーダーとして防災指導はもとより地域の救急講習会の指導者として活動し、現在は団員一七〇名のうち一〇九名が救急インストラクターとして活躍しています。

また次世代を担う若者にも命の大切さを知ってもらうため、平成十三年度から中学校では総合学習の一環として「市民救命士講習」が取り入れられています。その指導は地域の防災リーダーであり、各中学校の先輩

でもある消防団員がすべて行っており、これまでに市民救命士として養成した中学生は約二、五〇〇名に達しています。このような団員による学生の指導は、教育上も様々な効果があるとして各方面から高い評価を得ています。

この総合学習は平日の午後から実施されますが、神戸市の消防団員は非常勤であるため各個人が職業を有しており時間の調整に苦労をしています。そういった中でも地域の指導者という自覚から、本業に支障の無いよう団員間で協力しあい指導にあたっています。本年度も四中学校の約四〇〇名が指導を受ける予定ですが、地域のため、後輩のために、指導に頑張っています。

さらに今年度は、救急インストラクターの再講習を受講する年であり、平成十七年より、一般市民でも AED (自動体外式除細動器) を使用できることとなったため、これまでの心肺蘇生法だけでなく AED を含んだ救急講習を急務する必要があります。そのため、毎年、九月に消防団員が一堂に会し訓練を行う夏季訓練において、これらの講習会を開催し、技術の習得、向上を図っていく予定です。



地域住民への訓練指導



中学生を対象とした「市民救命士講習会」



平成18年神戸市消防出初式「模範演技披露」

北から南から

「南あわじ市にぜひ一度お越しください」

南あわじ市消防団

兵庫県最南端のまち「南あわじ市」は、南北に長い地形の淡路島の南部に位置し、南に鳴門海峡、西に日砂青松の慶野松原、中心には温暖で肥沃な三原平野が広がります。神戸市から六〇km圏、大阪市から八〇km圏にあり、市の中央を走る神戸淡路鳴門自動車道によって、明石海峡大橋を経て神戸へ五〇分、大阪へ九〇分、また、大鳴門橋を経て徳島へ四〇分の距離にあります。近年夏休みにはキャンプ&バーベキューを楽しむために慶野松原海岸に京阪神・四国の学生さん・家族連れのみなさんがお越しになられています。

南あわじ市は京阪神への「食」の供給基地として大きな役割を果たしています。また、淡路人形浄瑠璃に代表される歴史と文化の豊かな地域でもあります。三原川流域に広がる三原平野では、恵まれた地理条件と気候条件に加え、高度な農業技術を生かして、同じ土地で年三回農作物を栽培する三毛作が営まれています。甘くやわらかい淡路産玉ねぎは北海道に次ぐ生産地です。また、レタスや白菜、キヤベツなどの生鮮野菜は京阪神に即日出荷されています。

また、酪農・畜産の拠点も盛んで、伝統のある「淡路島牛乳」などの乳製品は、全国的なブランドに成長しています。肉牛は「淡路ビーフ」の名で知られ、「神戸ビーフ」「松阪牛」のもの

と牛になる淡路和牛の生産地でもあります。さらに、播磨灘や鳴門海峡などからは新鮮な魚介類が多く水揚げされています。鳴門海峡のタイ、沼島のハマや一本釣りのアジなど魚の種類は豊富で、京阪神から東京・築地の魚市場に高級魚として出荷されています。またノリやワカメ養殖、福良湾のハマチ、フグなどの栽培漁業も行われています。

兵庫と徳島の県境、鳴門海峡では、世界でもめざらしいうず潮を見るができます。うず潮は、約六時間ごとに起こる潮の干満によって、潮が高い海から低い海へ流れる時に生じる現象です。一年で最も潮の干満の大きくなる春には、潮流は時速三〇kmになり、うずの大きさは三〇mに達します。福良湾や伊弉(いび)港から発着する観潮船から、この壮大なうず潮を間近で見ることが出来ます。ちなみに南あわじ市出身の有名な人としては、タレントの上沼恵美子さんや、サッカー日本代表として活躍した加地亮選手などがおられます。



ハザードマップ



人形浄瑠璃



慶野松原

纏わるイベントが催されている南あわじ市です。八月二十六日、二七日には「ファームパークイングランドの丘」で市民祭り「南あわじ夢祭2006」が行われます。どうぞ皆さま南あわじ市にぜひ一度遊びにお越しください。

編集後記

連日厳しい暑さが続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。体調を崩しやすい季節ですので、健康管理には充分気を付けてください。

さて、今月号は平成十八年度消防団長名簿、故溝口名誉会長のお別れの会、平成十八年度第一回女性消防団員研修会を掲載しております。また、消防団今昔には、豊岡市日高消防団長竹中正巳さん、元加古川市消防団分団長國廣隆久さんより寄稿いただきました。厚くお礼申し上げます。

お詫びと訂正

「兵庫消防」平成十八年六月十五日発行第五八一号の「わがまちの団長さん」において、朝来市の消防団員数が謝っております。

深くお詫びしますとともに、次のとおり訂正いたします。
正 朝来市消防団員数一、〇三〇名(誤 二、〇三〇名)



兵庫県消防協会 ホームページアドレス

「こんにちは!ひょうごの消防団です」
<http://www.hyogoshoubou.jp/>

世界へ羽ばたく!

GMの消防自動車

大槻ポンプ工業株式会社

●本社・営業本部
〒623-0021
京都府綾部市本町7丁目67-2
TEL (0773) 42-0681 (代)
FAX (0773) 42-9229



- ・操法最適ホース : コンベVシリーズ
- ・小型動力ポンプ : ラビットダイヤモンドフジシリーズ
- ・小型動力ポンプ積載車(標準型・全自動型)
- ・消防ポンプ自動車(モリタ)
- ・消防用資機材全般



西垣消防器具製作所

669-5213 兵庫県朝来市和田山町玉置461
TEL: (079)672-3131
FAX: (079)672-3132
E-mail: fp-nishigaki@eagle.ocn.ne.jp



消防団服

- 甲種 日毛・帝人・東レ団服・作業服・制帽
- 乙種 刺子・木綿

ハッピー・ズボン・腹掛・革バンド

附属品一式

キンパイホース 兵庫県特約店

株式会社 三浦消防

姫路市竜野町1丁目1番地
電話 (姫路) 92-0447
(0792) 98-8663

美と力を備えた
新しいテクノロジーが
社会と暮らしを守り続けます。

安心を科学する モリタです。

株式会社モリタ

本社 〒544-0003大阪市長野区小路東5丁目5番20号
TEL06(6756)0119 FAX06(6756)3473
東京・大阪・名古屋・仙台・福岡・富山・松山

